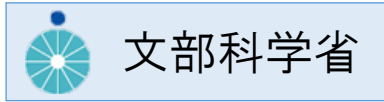


“革新的医療技術創出拠点” に求められる体制

国立がん研究センター
理事長
堀田知光

臨床研究基盤の更なる飛躍



文部科学省



厚生労働省

NCは、研究開発独法として
疾患研究を担う

国立高度専門
医療研究センター
(NC) 6機関

- 早期・探索的臨床試験拠点 5機関
- 臨床研究中核病院 10機関
- 日本主導型グローバル臨床研究拠点 2機関

橋渡し研究加速
ネットワーク
プログラム 10機関

重複を除くと、**22機関**

「革新的医療技術創出拠点」として一体化
NCと新独法を明確に関連づけ、
医療技術の実用化を加速

2012

日本医療研究開発機構
開始

日本医療研究開発機構とナショナルセンターの連携

例：がん領域

グローバルかつスピーディーな開発を促進する

出口を見据えた素早い
タイムリーなファンディング

密なコミュニケーション

日本医療研究開発機構

国立がん研究センター

米国、英国、仏国の
国立がん拠点と連携

人材交流

PMDAとの相談を踏まえた
無駄のない予算の要望

米国NIH本部

必要な試験の提示

PMDA

FDA、EMA、シンガポールHSA等と連携

医薬基盤研等

創薬ディスカバリー

国立がんセンター研究所

分子イメージング研究
ゲノムバンク

国立がんセンター中央病院
国立がんセンター東病院

ファースト・イン・ヒューマン試験

多施設共同研究
(国際水準:GCP)

国立病院機構ネットワーク
静岡県立がんセンター
がん研有明病院など

ICH-GCPLレベルの臨床試験実施体制の強化 (例)

